

令和2年7月17日

ICM 学生各位

ICM 教務部

## 学校生活における感染防止対策の強化について（お願い）

6月15日から通常登校が開始となり、学生皆さんには新しい生活様式に沿った行動を促してきました。**7月現在、コロナ情勢は関東圏を中心に感染者が再び増加しています。また、感染拡大傾向の地域からの人の移動による各地での感染者も日々発生しています。**

まもなく夏季休暇をむかえる時期ですが、休暇中を含め学校生活におけるよりいっそうの感染拡大防止の指導に努めます。学生の皆さんもその趣旨を理解し、緊張感をもって日々の就学生活を送ってください。引き続き、登下校を含む学校生活においてはマスクを着用し、感染予防のためのうがい・手洗いを頻繁におこない、毎日の検温（休暇期間中も実施）を欠かさず実施してください。

### ●登下校について

- ・マスクを着用し、学校入り口にてアルコール手指消毒を行ってください。
- ・毎朝登校前に検温をし、同日の体温を報告してください（夏期休暇中も検温）
- ・朝の検温にて 37.5 以上の場合は登校しないでください。37.0 から 37.4 以下の場合は、まずは学校に電話連絡をしてください（他の症状等を確認の上、学科の指示に従い行動してください）。
- ・公共交通機関を利用した登下校においては、隣の人との距離をとる、ボックスに座る場合は一人分空ける、前に人がいない状況で座る、など3密状態を避けてください。
- ・登下校中もマスクを着用し、会話はできるだけ避けてください。

### ●教室の使用について

- ・普通教室は定期的に窓および入り口を開放し、換気をしてください。
- ・窓の開閉ができない実習室では、常に入り口を開放し、換気扇を回してください。
- ・机を可能な範囲で離してください（1mの間隔をとるようにする）。
- ・グループワークは近い対面を避けてください（共有教室なども活用）。
- ・授業の際は、感染防止のため講師もマスクまたはフェイスシールドを着用します。
- ・エアコン使用時にも換気は必要になります。その場合は、窓を10cm程度開けて常に換気をしながら、室温の調整を図ってください。

### ●食事について

- ・マスクを外しての食事中はクラスメイトとの会話は控えてください。
- ・自席での食事は、前を向いてとってください（机を付けたり、向かい合わない）。
- ・外食する場合であっても、できるだけ3密を避けるように行動してください。

### ●エレベーターの使用について

- ・学生は階段で移動してください（原則、附属はりきゅう治療院の患者様と外部講師の移動のための使用に限定します。定員3名まで）。
- \*ただし、疾病等やむを得ない事情がある、または、階段では困難な備品等を運搬する場合は使用を許可します。その場合は、申し出てください。

### ●トイレの使用について

- ・10分休憩時間での混雑が予想されます。3密を避けるためにも、ドアの前で適切な間隔（最低1m）空けて並び、使用後は手洗いを速やかに行い退室してください。
- ・混雑している場合は、各階のすいているトイレを使用してください。1F、2FなどHRフロア以外のトイレを使用していただいて構いません。
- ・男性小便器は隣り合わないよう使用してください。
- ・洗面台付近で集団にならないようにしてください。用を足す以外の使用は控える。
- ・ペーパータオルの使用は1人1回1枚をお願いします（別途、ハンカチを持参）。

### ●清掃・手指衛生・消毒について

- ・手指消毒剤を各フロアに設置します。適宜、手指衛生につとめてください。
- ・通常の清掃に加え、授業終了時に消毒液で所定個所の消毒をしてください。清掃後は必ず教員のチェックを受けてください。

### ●熱中症対策について

今後の気温上昇に伴い、感染予防と合わせて以下の熱中症対策に努めてください。

- ・十分な睡眠、休息をとり、栄養のある食事をするように心掛けてください。
- ・高温や多湿といった環境下でのマスク着用は、熱中症リスクが高くなるおそれがあります。屋外で人と十分な距離（少なくとも2m以上）が確保できる場合には、マスクを外しても構いません。
- ・のどが渇いていなくても、こまめな水分補給に努めてください。マイボトルの持参を推奨
- ・授業中の水分補給は、担当講師の指示に従い、適切なタイミングで行ってください（ただし、机上に水筒やペットボトルを置いたまま講義を受けることがないように注意）。

ICM 学生は病院実習や治療院実習など患者様と直接接点を持つ機会が多く、就職先の多くが医療機関になります。それだけに学生のうちから医療人としての心構えを持ち、適切かつ細心の注意を払った感染対策が求められます。

**学内にて感染者が発生した場合は、学校全体の休講措置による授業や実習の遅延、就職活動などにも多大な影響が生じます。**

上記を念頭に置き、“自分自身が感染しない、周りも感染させない”強い意識をもって学校生活を送ってください。

# 「新しい生活様式」の実践例

## (1) 一人ひとりの基本的感染対策

### 感染防止の3つの基本：①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗い

- 人との間隔は、**できるだけ2m（最低1m）** 空ける。
- 遊びにいくなら**屋内より屋外**を選ぶ。
- 会話をする際は、可能な限り**真正面を避ける**。
- 外出時、屋内にいるときや会話をするときは、**症状がなくてもマスク**を着用
- 家に帰ったらまず**手や顔を洗う**。できるだけすぐに着替える、シャワーを浴びる。
- 手洗いは30秒程度**かけて**水と石けんで丁寧に**洗う（手指消毒薬の使用も可）

※ 高齢者や持病のあるような重症化リスクの高い人と会う際には、体調管理をより厳重にする。

### 移動に関する感染対策

- 感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える。
- 帰省や旅行はひかえめに。出張はやむを得ない場合に。
- 発症したときのため、誰とどこで会ったかをメモにする。
- 地域の感染状況に注意する。

## (2) 日常生活を営む上での基本的生活様式

- まめに**手洗い・手指消毒**
- 咳エチケットの徹底
- こまめに換気
- 身体的距離の確保
- 「**3密**」の回避（**密集、密接、密閉**）
- 毎朝で体温測定、健康チェック。発熱又は風邪の症状がある場合はムリせず自宅で療養



## (3) 日常生活の各場面別の生活様式

### 買い物

- 通販も利用
- 1人または少人数ですいた時間に
- 電子決済の利用
- 計画をたてて素早く済ます
- サンプルなど展示品への接触は控えめに
- レジに並ぶときは、前後にスペース

### 娯楽、スポーツ等

- 公園はすいた時間、場所を選ぶ
- 筋トレやヨガは自宅で動画を活用
- ジョギングは少人数で
- すれ違うときは距離をとるマナー
- 予約制を利用してゆったりと
- 狭い部屋での長居は無用
- 歌や応援は、十分な距離かオンライン

### 公共交通機関の利用

- 会話は控えめに
- 混んでいる時間帯は避けて
- 徒歩や自転車利用も併用する

### 食事

- 持ち帰りや出前、デリバリーも
- 屋外空間で気持ちよく
- 大皿は避けて、料理は個々に
- 対面ではなく横並びで座ろう
- 料理に集中、おしゃべりは控えめに
- お酌、グラスやお猪口の回し飲みは避けて

### 冠婚葬祭などの親族行事

- 多人数での会食は避けて
- 発熱や風邪の症状がある場合は参加しない

## (4) 働き方の新しいスタイル

- テレワークやローテーション勤務
- 時差通勤でゆったりと
- オフィスはひろびろと
- 会議はオンライン
- 名刺交換はオンライン
- 対面での打合せは換気とマスク

※ 業種ごとの感染拡大予防ガイドラインは、関係団体が別途作成